

令和6年9月30日

## 全校朝会講話 「親切と勇気」

おはようございます。お話をします。

久しぶりに体育館に全員が集まりました。先週から急に涼しくなってきましたが、体調は大丈夫ですか？ 季節の変わり目は体調を崩しやすいので、ぜひ気を付けてください。運動会も近付いてきました。健康第一でがんばっていきましょう。

今日は、先日学校に届いたうれしいお知らせをみんなに伝えます。学校の近くにお住まいのお年寄りの方からのお手紙です。内容は、次のようなものです。

ある日、その方は、病院に行こうと思っていたのですが、足が不自由なうえに荷物もあり、タクシーもなかなか来なくて困っていたそうです。そこに通りかかった5人の多聞小の子が、その困っている様子を見て助けてくれたというのです。

タクシーを探しに行ってくれた子、荷物を持って一緒にタクシーを待ってくれた子がいたそうです。無事にタクシーが来た時には、そのおばあさんをタクシーに乗せ、荷物も車の中に入れてあげたそうです。

実際にこの親切な行動をしてくれた人に、どんな気持ちでそうしたのかを聞いてみました。

「おばあさんの表情は少し怖いものだったけど、困っていそうだったから、見た目で判断してはいけないと思って助けた。『ありがとう』と言ってもらえてうれしかった。」

「ちょっと頭が真っ白になったけど、足が不自由そうだから助けなくてはと思った。」

「道徳の時間に『親切』について学んだことを思い出して、その学びを生かそうと思った。」

「荷物もあって、足も痛そうだから、どうしようかと迷ったけど、みんなで相談したら勇気が出て、助けられた。」

というような気持だったそうです。

これを聞いて、私はこの人たちの行動には、様々なものが詰まっているなと感じました。

人に親切にすることが大切なことで、素晴らしいことであることは誰でも知っています。でも、それを実際の行動に移すことには勇気が必要です。そして、仲間がいることで、その勇気はもちやすくなることもあるということなどです。また、普段の学校生活の中でしっかり学んでいるからこそ、正しい判断ができるということなのです。

正しいと思うことをやり通すことは難しいことかもしれません。でも、きっと同じような行動がみんなにはできるはずですよ。

これで、お話を終わります。